



市民の会便り



ハートねっと日立市民の会 ～元気でねっと！～

(事務局) 〒316-0003 日立市多賀町 1-3-8 つどいの広場内 ☎ 0294-38-2555

あいさつ

日に日に日差しが強くなり、今年も夏を越えられるかしら?と心配になってしまう今日この頃ですが、皆さまお変わりございませんか?さて今年も5月24日、日立保健所にて6人の来賓の方をお迎えて定期総会を開催することができました。来賓の方々は日頃から本当にお世話になっている方々なので、一人一人からご挨拶をいただいたことを嬉しく思いました。そして私からは皆さまへ15年続けてきた「つどいの広場」の活動を来年3月末をもって終わりにすることをお伝えさせて頂きました。

振り返ってみると、この活動を始めた頃は《夢と希望》に満ち溢れ、元気いっぱい色々な事にチャレンジして怖いもの知らずに走り続けてきたように思います。ですが気が付けば15年の時が過ぎ「つどいの広場」の運営に関わってくれている会員さん達も歳を重ねて無理がきかない年齢になってきていることを感じ、事務所の契約更新を見送ることにいたしました。来年3月までは残り数か月ありますので、スタッフ一同力を合わせ頑張りますので、皆さまも時間がある時には「つどいの広場」にぜひ顔を出して下さいね。そして嬉しいニュースが!…今年から日立共同作業所「ふきのとう」の家族の方が3名入会して下さいました。今後の活動についても一緒に考えていただけたら嬉しく思います。これからが夏本番ですのでくれぐれもお体大切にしてお過ごしください。

会長 弓野孝子



常磐大学体験発表

6月7日常磐大学で10時40分に始まりました。まずDVD〈不安の正体〉を30分視聴してもらいました。その内容はグループホーム建設にあたり住民の猛反対に遭い、何回も話し合っただけの思いでグループホームが出来るまでの話でした。その後ハートねっと日立市民の会の家族3人の体験発表をしました。私も子供の障がい発症から現在に至るまでの事を振り返り、その当時を思い出して胸に「グッ」とくるものがありました。そんな家族の発表を75人の看護学科の学生が真剣に聞いてくれました。発表が終わった後に学生さん3人から質問がありました。一人の方は家族に障がいを持っておられ、他の二人の方は家族で抱える大変さとこれからは一人の人間として優しく差別なく見守っていきたいとの意見があり親の一人としてとてもうれしく思いました。

今の世の中少しずつ差別がなくなっていることもたしかですがまだまだ差別はあります。〈怖い。なにをするかわからない〉などというイメージを持つ人がいますが、それはコミュニケーションが苦手なので誤解が生まれるのだと思います。DVDの中で当事者女性が〈ほんとうにみんなやさしいです〉と2回繰り返しています。私もそう思います。差別のないやさしい世の中になるように切に願っております。このような機会を今後も続けて頂きたいと思います。

ミニトマトより

茨城キリスト教大学の授業に参加して

6月21日茨城キリスト教大学においてDVD「不安の正体」の視聴と家族の体験談を話してきました。学生さんから感想を頂いているのでご紹介します。

- ・私は当事者の話を聞き、多少の悩みや不安を抱えながら本人と向き合っているのだと感じた。また病気について理解する努力もされていた。
- ・今回家族会という取り組みがあることやハートねっと日立市民の会の活動内容を知ることができた。今後精神疾患を持つご家族には寄り添い傾聴できるような看護師になりたいと思った。
- ・精神障害に対する知識がどれほど大切で必要なものか、また当事者のケアだけでなくその家族のケアもどれだけ大切なのかを知ることができた貴重な体験だった。
- ・精神障害を持っている方は正直「こわい」と思ったことがあります。表情がなかったり目つきが鋭かったり…。でも実際DVDを見ると優しく思いやりがある方が多いことに気づきました。

80数名の学生さんのほんの一部の紹介でしたが、皆さんレポート用紙1枚にびっしり感想を書いて届けて下さいました。茨城キリスト教大学への参加は今年で10年目になります。最初の頃は緊張していましたが、回を重ねる毎に今年もやり終えたよー。伝えたよー。という気分に変化していきました。(教育は大事です！)そして私たち家族ももう一度子供の事を見つめ直すいい機会になっています。会員のみなさんも学生さんに体験発表してみませんか？

“寅子”の妹より

定期総会開催

5月24日(金)に日立保健所で本会の総会が開催されました。日立保健所井深所長様はじめ茨城県議会議員村本様、日立市障害福祉課中村課長様、日立市社会福祉協議会大高局長様、茨城県精神保健福祉会連合会理事根本様、日立市議会議員照山様の御臨席賜わり、それぞれの御立場で励ましの言葉を頂きました。精神障害者や家族を取り巻く現状や今後どうしたらよいか等分かりやすくお話しされていました。

午後からはグループホーム「たまご」「ひよこ」の施設長長谷川さんによる「グループホームとは」の講演がありました。グループホームとは、

- ① 障がいを持った方が少人数で支援を受けながら共同生活を送る住まいの場
- ② そこで生活をする方に対して提供される支援が共同生活で援助される

2カ所のパンフレットの説明では建物と設備が新しく清潔感にあふれた環境でした。「たまご」では就労継続支援 B 型作業所もあります。また、梅が丘病院のデイケアに通所するための送迎車も利用できる所以安心して生活ができます。当事者のプライバシーにも気を配って生活支援員の方々は接して下さります。利用者男女1名ずつ入所してからの感想を聞きました。1日1日精一杯頑張っている貴重な経験談でした。

親亡き後を考えると当事者や家族にとって、地域、医療、行政の繋がりを密にして精神障がい者が自立した生活を送れるよう願っています。

ハイドランジアより



お知らせ

《月例会》毎月第4金曜日 於:日立保健所 13:30~15:30

7/26、8/23、9/27 通常通り開催します。

《サロン「ハートすまいる」》毎月第1・3火曜日 10:00~12:00

・第1火曜日は今まで折ってきた千羽鶴の最後の仕上げをしてお世話になった方々にお届けしたいと考えていますので、お手伝いしてくれる方募集中！！

・第3火曜日

7/16 七夕飾りの後片付け

8/20 マンダラチャートで目標達成！（大谷翔平選手も実践している）

9/17 バザー出店用のリース作り

《当事者会「SANAGI」》偶数月第4土曜日 ※内容はその都度お知らせします。

8/24 開催予定

